



県民と一しよに訴える藤井・河村両議員＝5月10日、県議会前

こんにちは  
日本共産党

藤井とし子・河村ひろ子です

もっと身近な県政へ

日本共産党県議会議員団

四月の統一地方選挙で、広島市では四十年ぶりの県議誕生、福山市は議席継承で合わせて二議席へ前進し、日本共産党県議団として初めての六月定例会に臨みました。

一般質問の機会はありませんでしたが、常任委員会では毎月質問できます。「文教」と「建設」の委員会で県民の声を届けて奮闘しました。

県内のさまざまな市民団体との懇談や、県へ要望書の提出も行いました。

また、「議会改革」を訴えて、議長・副議長選挙への立候補や、議長に海外視察の中止や高額な金製バッジの廃止などの議会改革を申し入れるなど、県民感覚からかけ離れた議会を変えるための一石を投じることができました。

もっと身近な県政になるよう、引き続きみなさんと力を合わせて頑張ります。よろしく願います。

## 2議席へ前進した力で 県民の運動と連帯し 県民の声を議会に

文教委員会

### 教育長による教育私物化問題を追及

県教委と平川教育長の官製談合

県民は納得していない！

平川教育長と親交のある「NPO法人パンゲア」との総額2600万円の事業契約の一部に、「官製談合防止法違反があった」と外部の弁護士による調査（調査費用300万円）で明らかになりました。ところが、教育長は特別職なので処分の対象にならず、報酬（81万円）の3割、2か月分を返上することで幕引きを図ろうとしています。



県政報告をする藤井議員＝7月21日

藤井議員は「県民は納得していない。県知事の任命責任も明らかにすべき。教育長が進める民間丸投げの教育事業は見直すべきだ」と主張しました。

図書館リニューアル事業

一万三千冊の1割が赤木氏の本

平川教育長は、友人である赤木かん子氏をアドバイザーとして招き、県立学校の図書館リニューアル事業を進めています。5年間で、15校で11万冊を廃棄させ、赤木氏が示した図書リストから1万3000冊を購入、その中に赤木氏の自著（約1割）が含まれていたことが明らかに。

藤井議員は「本を大量に廃棄させ、赤木氏の自著本まで強制的に買わせていた事実が教育長による、赤木氏への利益誘導ではないか」「やり方は問題だ」と追及。担当課長は、「図書の廃棄と購入は校長の責任で行った。今後の進め方については検討している」と答えました。

建設委員会

広島高速5号線・二葉山トンネル

### まず、地盤隆起・沈下の原因解明を

住民合意ないまま工事再開は許されない



河村議員は、問題になっている広島高速5号線・二葉山トンネルについて質疑しました。同トンネル工事は、住宅地の地表面に異常隆起と沈下が発生し、昨年12月から工事を中断。相次ぐ住宅の外壁亀裂や騒音、振動などへのまともな対策がなく、隆起と沈下の原因も不明なまま、6月29日に工事再開を強行しました。

担当課長は「説明会に多数来ていただけよう努力した」と答えるのみでした。

また、工事再開にあたり、これまでの隆起分と沈下分はリセットし、現在の地表面を基準にするとの説明に、河村議員は「住民は同意していない。同意がないままの工事強行は許されないと。湯崎知事は現場に向いて、直接住民と話し合うべきだ」と力を込めました。



河村議員がテレビ放映されました。11月6日22日

理事長の認識では困る 県民の声に答えてもらわないと困ると抗議されたのでしょうか

河村 晃子 県議

県議団

河村議員がテレビ放映されました。11月6日22日

6月30日委員会で、河村議員は、工事再開の撤回を求める署名249人分が提出され、ほと

んど住民が説明会を拒否したことへの受け止めを質問。担当課長は「説明会に多数来ていただけよう努力した」と答えるのみでした。

## 海外視察・4万4千円の議員バッジ

県民感覚で見直せ



マスコミから取材を受ける共産党議員団

日本共産党 藤井とし子 河村ひろ子

県議会報告

2023年8月10日 No. 1

発行 日本共産党広島県議団

県庁・議会控室 TEL 082(228)6577

FAX 082(223)2034

ホームページ <http://kyodo-support.com/tuji/>

E-mail: [h-kawamura@gikai.pref.hiroshima.jp](mailto:h-kawamura@gikai.pref.hiroshima.jp)

県政についてのご意見・ご要望・お困りごとなどお寄せ下さい



金製の議員バッジ

議会改革を求める要望書を提出＝6月23日



藤井議員は「県民感覚に照らし、ぜひ見直しを」と要求。中本議長は、「各会派の代表者に伝える」と答えましたが、7月4日の記者会見で、「バッジについては現時点で議論をしない。海外視察は今期も続ける」と表明。物価高に苦しむ県民の生活感覚とかけ離れています。

① 議員の海外視察の再開は中止し、HPから削除した報告書を元に戻す。  
② 各派代表者会議や議会運営委員会に少数会派を加える。  
③ 交通費とは別に支給される公務諸費3千円の廃止。  
④ 高額な金製の議員バッジ（4万4千円）は材質を変える、または貸与等にするなど4項目です。